

妙安寺だより 318

テレフォン法話 092-751-6

084 (毎週月曜日に話が変わります)

〔 ② 〕

はきことなし ほのし して だすべし
 にのあり のきの としてまず
 はに のをれて としてし にせり
 のは れがなり ののは くれがなり
 ものは のし のみ くをす (第三)

この世は、欲望がさかんで、生死の苦しみに満ちて、らかなことがない。それは、燃えさかる家のようにであり、様々な苦しみがいたるところに満ちて、この世ほど、怖いところはなく、人々は恐れおののいています。

常に、世の中の人々は生老病死の四つの苦しみにいっけています。このような苦しみが、燃えさかる火のように、消えることなく燃え続けているようなものです。

しかし、仏はすでに、の燃えさかる家のような、この世の苦しみや迷いからはなれて、心静かに、で安らかな悟りの世界に住んでおられる。それは、静かな林や野原に住んでいるようなものです。

けれども、すべての人々が憂い苦しんでいるこの世は、皆、仏である私がめており、この世の中で苦しみを、悩んでいるすべての人々は、すべて仏である私の子供たちなのです。

さまざまな苦しみの患いや、多くの困難がふりそそぐ今のこの世を、ただ、仏である私一人だけが、よく救いを導いて、っているのです。

お釈迦さまは、の一つ「」のたとえ話を語られた後、燃えさかる家には苦しみが満ちている。これはこの世のことであると述べられ、生老病死の苦しみに恐れ、憂いている人々を助けようとされました。

仏とは、この煩悩の燃えさかるこの世から離れ、苦しみや迷いを乗り越えて、心静かに清浄で安らかな悟りの世界に住んでいる存在なのです。

お釈迦さまは、仏としてこの苦しみに満ちた世に出現して、法華経という真実最高の大乘の教えを受けて、苦悩する人々を救おうとされているのです。

二 月 の 行 事 案 内

2月6日(日) 節分会・星祭り&方除け祈願祭

午前11時 木 焼 式

古いお札、お守り、白木の位牌、仏具などをお払いの上、燃やしますので、1月末または前日までにご持参ください。当日時間外に持参の場合は翌年になります。

正午より お 齋

午後 1時 星祭り&方除け祈願 終了後に豆まき&福引

星 祭 り 家族一人ひとり1年365日の間には、善い日もあり悪い日もあります。

そのために、家族一人ひとりの息災延命を願い、1年間の厄払いの祈願をします。

方 除 け 家屋・地所などを、四天王すなわち、東方の大持国天王は水難や火難の災害を、西方の大広目天王は怨敵の願いを、南方の大増長天王は諸々の病を、北方の大毘沙門天王は夜叉の害をそれぞれ除いて護ってくれるように祈願をします。

※星祭り&方除け祈願ご希望の方は、当日は込み合いますので、1月31日までに持参されるか、郵送またはFAX(092-751-4055)にてお申し込みください。

2月16日（水）午後1時より

宗祖降誕会法要

宗祖御降誕会法要

開山可觀院日延上人並びに歴代上人報恩法要

永代追善供養法要

※皆様とご一緒に、お経を読誦いたしますので、数珠・お経本をご持参ください。

※2月6日の星祭り終了後に、太歳三カ日の祈願・回向のお札並びに星祭り・方除けの祈願のお札をお渡しいたします。

※当日参詣できない方のお札は、各家の位牌堂と大黒様の御宝前に安置しておりますので、3月のお彼岸までにお寺参りの際にお持ち帰りください。

※郵送希望申し込みの方は、2～3日後に郵送いたしますのでご了承ください。